



We Find the Way

NEX
NIPPON
EXPRESS

NXグループ
統合報告書2025

NXグループは変わらない理念・価値観をもとに物流から新たな価値を創造し、自らの成長と持続可能な社会への貢献を実現します



NXグループ企業理念

私たちの使命 それは社会発展の原動力であること
私たちの挑戦 それは物流から新たな価値を創ること
私たちの誇り それは信頼される存在であること

私たちNXグループは、創業以来、ものを運ぶことを通して、人、企業、地域を結び、社会の発展を支えてきました。

この変わらぬ使命を果たすため、社会の変化をとらえ、自らを進化させ続けます。

安全に徹し、環境に配慮し、世界を舞台にすべての力を結集して、物流から新たな価値を創造することに挑戦していきます。

いつの時代にも、社会から求められ、信頼されることを誇りに行動します。

すべては、物流を通して社会に貢献し、豊かな未来を創る、NXグループであるために。



NXグループ企業メッセージ

We Find the Way

運ぶこと。

それは、新しい未来をつくろうとするお客様の思いを実現すること。

だから、どんなときでも、ただ一つの最善の方法を見つけ出し、必ずやり遂げる。

このような、私たちの強い意志と自信を、この企業メッセージに込めています。

At a Glance

数字で見るNXグループ※1

創立



1937年

展開国・地域数



57か国・地域

グループ会社数



339社

従業員数(海外従業員数)



76,389人
(26,438人)

フォワーディング数量



海運 89.9万TEU

航空 92.1万t

倉庫面積(国内・海外)



854.5万㎡
(409.6万㎡・444.9万㎡)

フォワーダーランキング

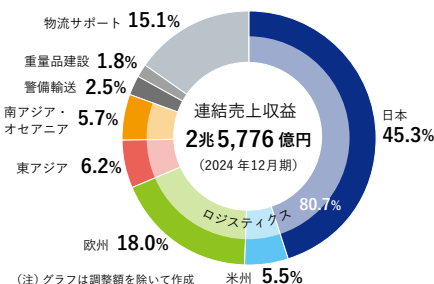


世界6位

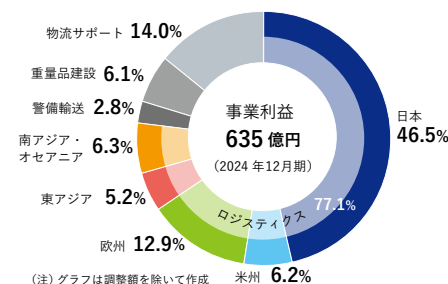
財務情報(2024年度実績)

売上収益	2兆5,776億円
事業利益	635億円
事業利益率	2.5%
海外売上収益	9,262億円
ROE	3.8%

セグメント別売上収益構成比



セグメント別事業利益構成比



サステナビリティ経営情報(2024年度実績)

Scope別CO2排出量※2,3,4

Scope 1	528,894t-CO ₂ (前年比▲17,780t-CO ₂)
Scope 2	190,207t-CO ₂ (前年比▲12,535t-CO ₂)
Scope 3	18,052,883t-CO ₂ (前年比+9,342,634t-CO ₂)

エンゲージメントスコア 72pt(前年比1pt Up)

※2 Scope3の算定にあたっては、GHGプロトコルに従い算定しています。
 ※3 2024年度からScope3にはカテゴリ11の排出量を追加しているため、実績値が大幅に増加しています。
 ※4 Scope3のカテゴリ別排出量は当社WEBサイトをご確認ください。
 環境データ (<https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/sustainability/data/e.html>)

※1 2024年12月時点

NXグループの事業概要

ロジスティクス

■国内・国際輸送



航空機を利用した国内・国際貨物の利用運送事業を行っています。



複合一貫輸送を主体とする国際輸送事業、国内定期コンテナ/RORO船を主体とする内航輸送、および港湾運送事業を行っています。



積合せ輸送や貸切輸送などの貨物自動車運送事業を行っています。海外でも輸送網を整備・拡大しています。



世界各国において、鉄道輸送を利用したさまざまな輸送サービスを提供しています。

■倉庫保管、ロジスティクス・ソリューション



貨物の保管、入出庫に加え、流通加工機能や、貨物追跡システムなどの情報機能を組み合わせたサービスを国内外で展開しています。



拠点規模やニーズに応じた物流センターシステム(WMS)など、当社の実績とノウハウを結集した情報システムを提供しています。

■専門輸送



個人のお客様、企業のお客様の引越業務やオフィス移転等を行っています。



技術スタッフの梱包技術と、振動や空調に細かく配慮した輸送手段により美術品輸送を行っています。

警備輸送

■金融機関向けソリューション

現金処理をはじめとする現物処理業務を受託しています。現金や有価証券を輸送する設定便をはじめ、行内処理業務を含む、現金に係る全ての業務のアウトソーシングを可能としています。

■一般企業向けソリューション

現金や商品券などの売上金の回収から、銀行への入金処理やデータ化までを集約する売上金管理サービスなどを提供しています。

重量品建設

国内外のさまざまな業界・お客様が実施するインフラ整備事業において、巨大な機器や複雑な形状の装置、巨大構造物を、特殊な車両・機材を駆使し、緻密な計画を練り上げてあらゆる場所へ輸送し、設置し、組み立てています。

■主な事業領域

- 変電設備
- 風力発電設備
- LNG・水素発電設備
- 石油化学プラント設備
- 半導体製造設備
- 交通インフラ設備

物流サポート

■物流資機材販売・工事

倉庫や物流ターミナル内の機械器具設置工事や建設資材の販売など、あらゆるサービスを全国ネットワークで幅広く提供しています。

■車両建設機械整備、トレーラ・コンテナ製作

車両・建設機械の点検・修理や車検およびコンテナのメンテナンスを行っています。各種トレーラ製作やトラック架装など、運用形態に適した製品づくりにも取り組んでいます。

■部品梱包・設備梱包・荷姿設計

部品や機械設備の輸出梱包サービスなどを展開しています。部品／製品の特長、輸送モード、輸送環境、荷役・保管状況等の物流要件に合わせ、最適な梱包仕様を提供します。

■石油・LPガスの販売

車両を保有する企業に対するの自動車用燃料の販売、船舶用燃料の販売、家庭用および各産業分野向けのLPガス販売などを行っています。

■不動産

施設管理、仲介業務、物流施設を中心とした建築設計などを行っています。

Major Update

長期ビジョン「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」の実現に向けた、従来とは異なるレベルでの取組みと変革のギアUP

POINT 1 企業価値向上に向けたアプローチの強化

アセットの保有戦略の見直しを含めたBSマネジメントの強化と資本政策の見直し、および事業ポートフォリオマネジメントの推進強化によりエクイティスプレッドの確保、拡大を目指す。



POINT 2 稼ぐ力の強化に向けた事業成長の加速と収益性の向上

オーガニック戦略によるグローバルビジネスの拡大と日本事業の収益性の改善を加速することに加えて、被買収企業のPMI推進とともに、さらなるM&Aの活用に取り組む。



POINT 3 サステナビリティ経営と事業活動の一体化による持続的な企業価値向上

サステナビリティを推進するための基盤整備から、事業活動との連携を目指す実行フェーズへ移行し、リスク低減・成長機会の獲得により、持続的な企業価値向上を目指す。



目次

Introduction

- 1 NXグループ企業理念・NXグループ企業メッセージ
- 2 At a Glance
- 3 NXグループの事業概要
- 4 Major Update/目次
- 5 編集方針

NXグループの価値創造

- 6 NXグループの価値創出の歩み
- 7 長期ビジョン
- 8 NXグループの価値創造エンジン
- 9 NXグループのビジネスモデル
- 10 価値創造プロセス
- 11 重要資本の活用と強化
- 12 NXグループの強み
- 13 アウトプットとアウトカム
- 14 事業環境分析
- 15 中長期の環境変化を捉えた重要課題(マテリアリティ)
- 16 企業価値向上に向けた経営計画の取組み

Top Message

- 17 CEOメッセージ

財務戦略・資本政策

- 22 経営計画2028の取組み状況
- 23 経営成績の分析
- 24 財政状態の分析
- 25 PBR・ROE・PERの現状分析・評価
- 26 経営戦略本部長メッセージ
- 28 事業ポートフォリオマネジメントの推進
- 30 キャッシュアロケーション
- 31 株主還元

事業の成長戦略

- 32 グローバル事業本部長メッセージ
- 35 重点産業への取組み
- 36 動向を注視すべき情勢変化
- 37 M&Aの振り返り
- 38 事業成長を支えるIT基盤
- 39 セグメント情報
- 41 日本事業の再構築

サステナビリティ経営

- 44 サステナビリティ推進部担当執行役員メッセージ
- 45 サステナビリティ推進の枠組み
- 46 重要課題(マテリアリティ)の特定・見直しプロセス
- 47 重要課題(マテリアリティ)への取組みによる非財務資本・財務資本の強化、目指す姿の実現
- 48 重要課題(マテリアリティ)への取組みの進捗
- 49 サステナブル・ソリューションの開発・強化
- 50 コーポレートマネジメント本部長メッセージ
- 52 気候変動への対応強化における考え方・取組み
- 53 人権に関する取組み

コーポレートガバナンス

- 54 社外取締役座談会
- 58 コーポレートガバナンス
- 66 リスクマネジメント
- 67 コンプライアンス
- 68 ステークホルダーエンゲージメント(株主・投資家)
- 70 役員一覧
- 72 スキルマトリックス・選任理由

財務情報・非財務情報

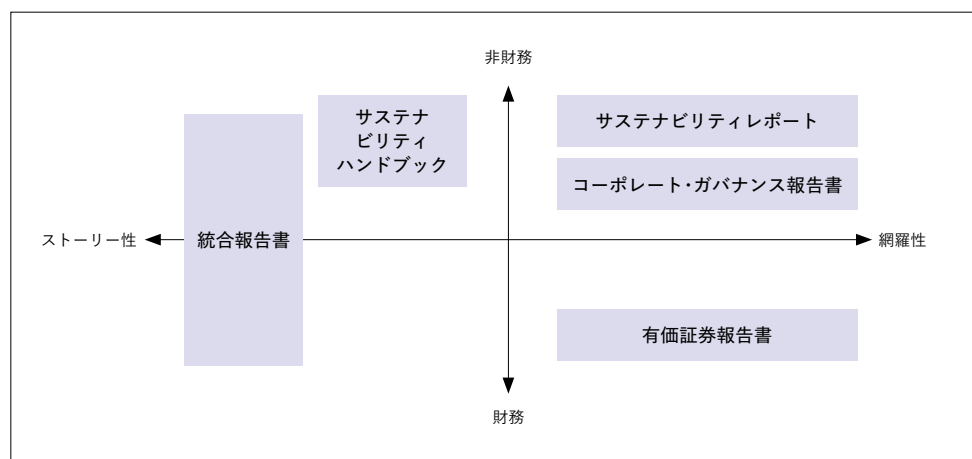
- 74 財務11か年サマリー
- 75 非財務11か年サマリー
- 76 社外からの評価
- 77 会社概要および株式情報

編集方針

情報体系

統合報告書は、NXグループの中長期的な価値創造について、株主・投資家を中心としたステークホルダーの皆さまのご理解をより深めていただくことを目的として財務情報と非財務情報を統合した内容をまとめています。

また、より詳細な非財務情報はサステナビリティレポートに掲載しています。



任意開示

●サステナビリティレポート

<https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/sustainability/report/>

●サステナビリティハンドブック

<https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/sustainability/report/>

法定開示

●有価証券報告書

<https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/ir/library/securities/>

●コーポレート・ガバナンス報告書

<https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/ir/governance/>

報告対象範囲

NXグループ(国内外のグループ会社も含む)を対象としています。当社は2022年12月期の有価証券報告書より、国際財務報告基準(以下IFRS)を任意適用しました。本報告書については、一部のページを除き、IFRSに基づき作成しています。

報告対象期間

2024年度(2024年1月1日~2024年12月31日)

(一部、2023年以前、2025年以降の情報も含まれます)

発行時期

2025年6月

参考としたガイドライン等および保証

本報告書の編集に当たっては、国際統合報告評議会(IIRC)の国際統合報告フレームワークおよび経済産業省の価値協創ガイダンスを参考にしています。

また、サステナビリティ報告の開示情報については、GRI^{※1}のサステナビリティ・レポートング・スタンダードを参照しています。

※1 Global Reporting Initiativeの略。サステナビリティ報告書の国際的なガイドラインの作成・普及を目的とした団体。GRI内容索引については、当社サステナビリティサイト(<https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/sustainability/>)に掲載しています。

参考ガイドライン

- IIRC 国際統合報告フレームワーク
- GRIサステナビリティ・レポートング・スタンダード(参照)
- 環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」
- SASBスタンダード

将来の見通しに関する注意事項

本報告書におけるNXグループの今後の計画、見通し、戦略などの将来予想に関する記述は、当社が開示時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成しており、今後の経済状況等により、実際の業績などの結果は見通しと大きく異なる可能性があります。